

報道機関配付資料 安城市

件名 企画展「はたらく道具たち一職人の仕事道具一」の開催について

令和6年4月5日

歴史博物館では、企画展「はたらく道具たち一職人の仕事道具一」を開催いたします。民家を建てる大工、生業や生活の道具を作る鍛冶屋や桶屋など、ひと昔前までは職人たちは私たちにとって身近な存在でした。さらに、地場産業であるそうめんや花火の職人とその道具は、現在でも活躍しています。

本展では職人の道具に着目し、当館所蔵資料の中から様々なはたらく道具たちをご紹介します。

記

【展覧会】会期 4月13日(土)～6月30日(日)

場所 安城市歴史博物館 企画展示室

観覧料 無料

【内覧会】日時 4月12日(金)午後2時～

【主な展示資料】 展示資料235点

・墨壺(大工) ・吹子(鍛冶屋) ・花火玉皮・木型(花火師)

問い合わせ 安城市役所 文化振興課

電話(直通) 0566-77-6655



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中

企画展 安城の今昔5



は た 弓 く
道 具 た ち

職人の仕事道具

会期: 令和6年4月13日(土) ~ 6月30日(日)

会場: 歴史博物館 1階 企画展示室 観覧料: 無料

【開催趣旨】

ひと昔前まで、私たちにとって職人たちは身近な存在でした。民家などの建物は大工たちが建て、人々の生活に欠かせない生業の道具や生活道具は、鍛冶屋や桶屋の職人たちが作っていました。またこれらの道具は職人たちの修理によって、長く使い続けることができました。

本展では「はたらく道具たち」に着目し、当科所蔵資料より職人たちの仕事とその道具についてご紹介します。

【展示構成】

- 第一章 職人の仕事と道具
…大工、建具屋、鍛冶屋など
- 第二章 生活道具と職人
…桶屋など
- 第三章 安城市内の地場産業と職人
…和泉そうめん、三河花火

※展示資料 **235**点



内丸鉋・外丸鉋
【桶屋】



道具箱【宮大工】

第一章

職人の仕事と道具

第一章ではまずはじめに、建築に関わる職人とその仕事道具を紹介します。

民家の建築には、様々な職人たちが関わっていました。設計や家の組み上げを担当するのは大工、扉などの建具を製作するのは建具屋、屋根を葺く屋根屋などが、それぞれの仕事に適した道具をもって仕事にあたっていました。

鑿（のみ）【大工】



墨壺【大工】



機械溝鉋【建具屋】



吹子【鍛冶屋】



筥（うけ）



金槌・錐
【筥職人】



第一章の後半では、生業にかかる道具を作る職人について紹介します。

鍛冶屋は人々の生活にとって重要な存在です。特に鍬や鋤などの農具は需要が多く、壊れたら再度修理して使われました。また漁で使う筥を作る職人も存在し、人々の暮らしを支えました。

第二章

生活道具と職人

今では工場で大量生産されるような生活道具も、昔は職人が一つ一つ手作りするものでした。例えば、手桶や風呂桶、飯櫃などとして使われる桶（結桶）は、桶屋が作っていました。

他にもオーダーメイドの手縫い靴職人や、冠婚葬祭に欠かせない菓子をつくる和菓子屋など、人々の生活の各所に、職人たちが密接に関わっていました。

靴木型【靴職人】



底回し鉋【桶屋】



桶



第三章

安城市内の 地場産業と職人

安城ならではの職人の仕事と道具の中には、現在でも活躍しているものもあります。この章ではその中から、江戸時代より作られてきた和泉そうめんおよび三河花火の職人と道具を取り上げます。

花火玉皮・木型
【花火師】



製麺竹【そうめん】

そうめん作りの工程



関連イベント

記念講演会（当日受付）

日時：令和6年5月18日（土） 14時～

内容：江戸時代の職人を読み解く

講師：篠宮雄二氏（中部大学人文学部歴史地理学科教授）

歴博講座（当日受付）

日時：令和6年6月1日（土） 14時～

内容：安城の職人と仕事道具

講師：千田佑香（本館学芸員）

ミニ鯉のぼり染め体験

日時：令和6年4月20日（土）
10時～12時

講師：渡辺健一郎氏・古賀智氏
（ワタナベ鯉のぼり株式会社）

定員：20名 ※要事前申込

参加費：3,000円

豆たたみづくり体験

日時：令和6年6月8日（土）
10時～11時30分

講師：榊原豊太郎氏・榊原玄大氏
（榊原タタミ店）

定員：15名 ※要事前申込

参加費：1,000円

法被【宮大工】



内覧会：令和6年4月12日（金）午後2時～